

■メインケースへの取付け

最初にメインケースを框へ取り付けます (図-1)

- ①取付けねじで②メインケースを取り付けます。
- この時③ラッチの背が室外側に向くようにしておいてください。

■シリンダーユニットの取付け (図-2)

- ⑤メインシリンダーユニットを室外側より④メインケースに差し込みます。
- ⑥サムターンユニットの⑦サムターンツマミを縦にした状態で、④メインケースに差し込み⑧取付けねじで締め付けます。

■ハンドルユニットの取付け (図-2)

■可動ハンドル (図-2)

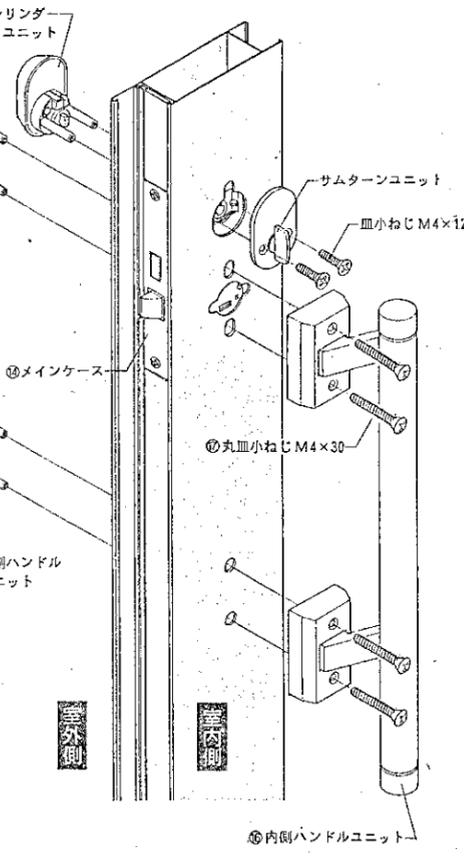
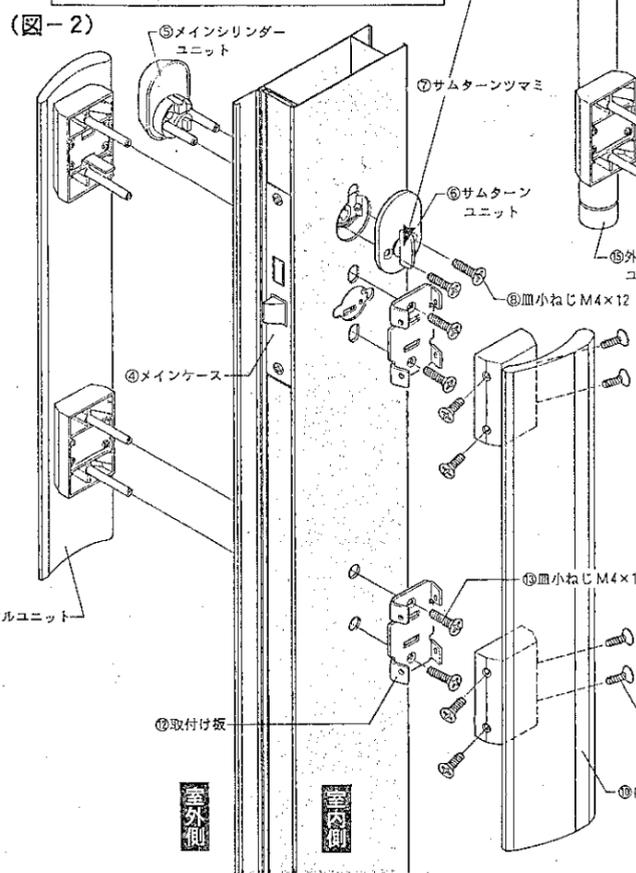
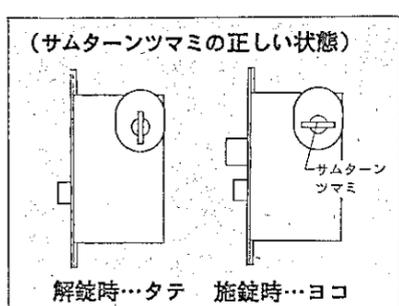
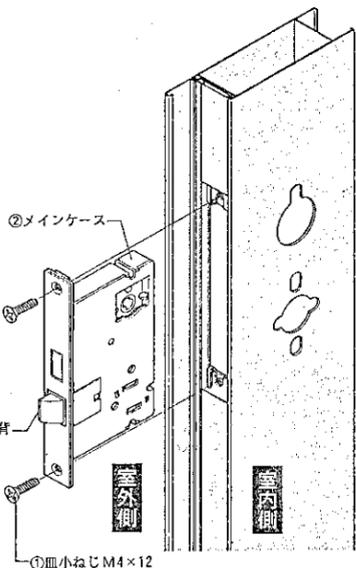
- ⑨外側のハンドルユニットを室外側より④メインケースに差し込みます。
- ⑩内側ハンドルユニットの⑪内座取付けねじを外し、⑫取付け板を⑬ねじで固定します。
- ⑩内側ハンドルユニットを⑫取付け板にかぶせ、⑬取付けねじで固定します。

■固定ハンドル (図-3)

- ⑮外側ハンドルユニットを室外側より④メインケースに差し込みます。
- ⑯内側ハンドルユニットを⑰取付けねじで締めつけます。

■固定ハンドルユニットの取付け

固定ハンドルは、両開きタイプの子扉に取り付けます。取付け方法は、③ハンドルユニットの取り付けと同じ要領で取り付けてください。ただし、固定ハンドルユニットには、サムターンツマミがありません。



■サブケースへの取付け

最初にサブケースを框へ取り付けます (図-4)

- ①取付けねじで②サブケースを取り付けます。

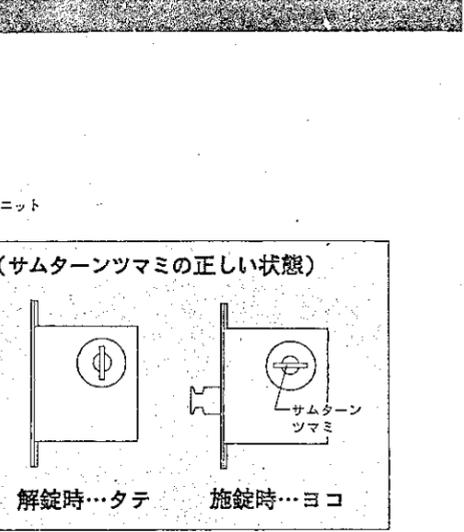
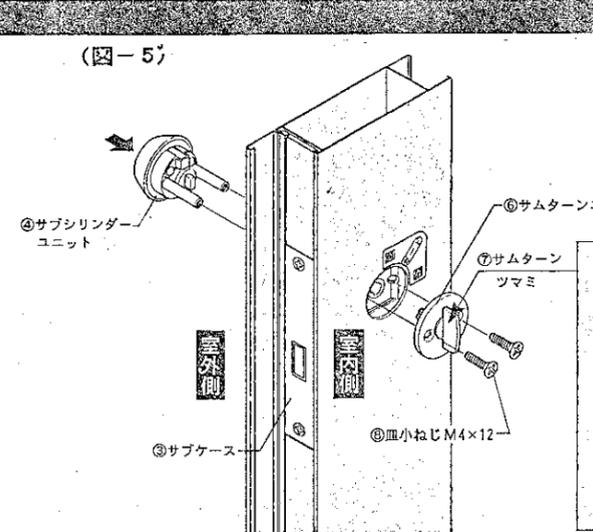
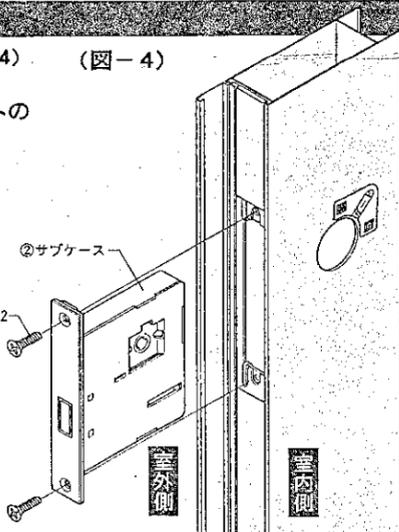
■シリンダーユニット及びサムターンユニットの取付け (図-5)

- ④サブシリンダーユニットの⑤封印シールの文字が正しく読めるように向けて、室外側より③サブケースに差し込みます。

【サブシリンダーユニット (図-5) (矢視図)】



- ⑥サムターンユニットの⑦サムターンツマミを縦にした状態で、③サブケースに差し込み、⑧取付けねじで締め付けます。



■ガードロック及びコンストラクション装置について

●本製品(ポルトシリーズ)は、サブロックにガードロック方式を採用しています。ガードロックは、1つの錠でドアチェーン及び施錠の機能を持っています。

【操作方法】

- サムターンを45°回します。(図-6) 戸当たり側からガードアームが引き出され、ガード状態となります。
- サムターンを90°回します。(図-7) ドアは施錠状態となります。

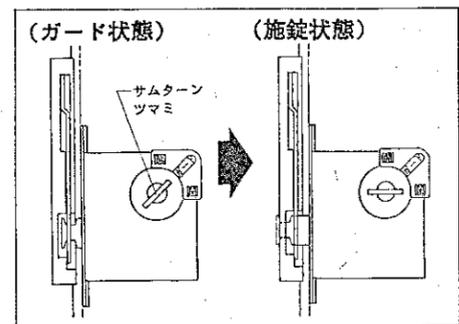
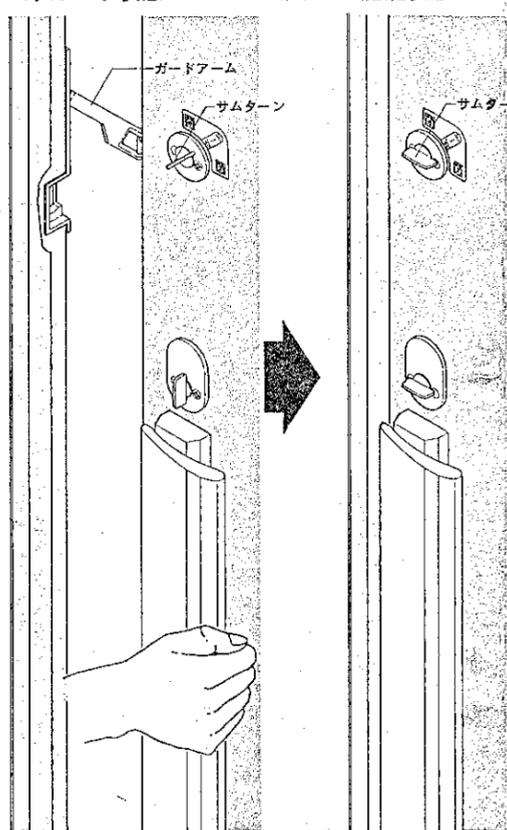
※①、②の操作及び解除は室外側からキーでも操作できます。

【ご注意】

外側の建付けが調整されていないとガードロック装置が正常に機能しない場合があります。その際は、外枠と同梱の取付け説明書の「躯体への取付けと透き間の調整」をご覧ください。

(図-6) ガード状態

(図-7) 施錠状態



●本製品(ポルトシリーズ)は、メインロックにコンストラクション装置を採用しています。ポルトシリーズの現場を施工される場合、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主様専用のキーで作動するとコンストラクション装置が解除し、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。

【お願い】

サブロックには、コンストラクション装置が組み込まれていないため、封印シールを貼付してあります。施工後、シールをはがして、作動を確認後、お施主様にお引き渡しください。

【サブシリンダーユニット(室外側)】



(図-8)

